

清恵会医療専門学院 准看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念及び教育目標、育人材像を定めており、生徒には入学時のガイダンスで説明をしている。	教育理念・目的・目標は、学則に定められている。また、生徒にも周知を図るため入学時に新入生ガイダンスを配布し説明している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護の専門職として求められる専門知識、技術を身につけてた准看護師の育成に努めている。また、協調性を重視しており、生徒同士で助け合い、仲間意識を持てるような環境づくりに努めている。それらは、他職種と連携しながら准看護師としての役割を実践できる人材育成ニーズに適合している。	専門の知識・技術・態度を身につけ、柔軟に対応できる准看護師の育成に努めている。就職率は100%ではあるが、進学率は50%程度である。看護師の質向上に向け、進学に向けたサポートを継続していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教職員での理念を周知し教育活動の取り組みができるように努力をしている。豊かな人間性を育てるために、基礎分野や教科外活動に感性を養う内容を取り入れている。	病院附属の学校であることや1クラス少人数制、担任制などの特色を生かし、生徒指導に力を注いでいる。豊かな人間形成を重視し、看護師としての感性を高め、進学につなげるよう取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	10代～50代までの生徒がいる年齢層が幅広いクラスであり、目的意識も高く社会人を経験した学生も多くいるため考え方が多様である。様々な生活背景にもかかわらず学べる学習環境である。	経済的理由から仕事と学業の両立を希望する受験生も少なくない。医療は多様化、複雑化しており、臨床判断能力、多職種連携など高いスキルをもつ看護師の育成が求められていることから、2022年の新カリキュラム改正に向け、現行のカリキュラム評価に取り組んでいるところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を月に1回開催し、全学科全学年の状況共有している。法人からの方針や指示を教員全体に伝達している。運営方針については、教育理念に沿った教育目標を基に、学校運営方針を定めている。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議にて、学校運営方針を確認し、看護学科、診療放射線技師科、理学療法士科と取り組み状況について情報の共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年度始めに、学校運営方針を立て、それを基に各学年担任が前期・後期の学年方針を立てている。前期・後期で計画を振り返り、方針の修正を行い年度末には総括を行い評価をしている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められる。運営会議で事業方針を確認し、科長会、教務会で、教員全員へも周知を図っている。事業方針に沿ってそれぞれの役割をもって業績目標を打ち出し、目標達成に向けて取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会、科長会、主任会、その他各委員会を設置し開催し活動を実施している。また、年度末には委員会報告を行っている。	学院長、事務長、各学科の教務科長をメンバーとする運営会議を月一回実施し、学校運営の適正化を図っている。看護学科は3課程あり、3課程合同の教務科長会、学科会議、教務会、各種委員会を設置・開催している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を設け、学院運営会議での審議決定事項を伝達し、実務との調整を行っている。各学年に担任制を取り入れ教員の配置をしている。	教員の業務分掌・サービス規程は学則に定められており、教務科長・主任を含めた教員5名を配置している。各クラスの担任、副担任、専門領域を明確にしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規定に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより各年次の教育内容、実施方針を定めている。2022年度の新カリキュラムに向けて、カリキュラム・シラバスの見直し検討している。	教育理念に沿った教育課程は編成されており、学生に向けた「教育カリキュラムガイダンス」を作成している。入学時にはガイダンスを用いてオリエンテーションを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則細則により各年次の科目履修規定を設けている。学科目に対しては、評価点の基準を設けている。授業と実習については修了時に評価を行い、教育到達レベルを検証し見直しを行っている。	修業年限に応じた教育到達レベルは、「教育カリキュラムガイダンス」に明確にしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に沿って構成している。その中の科目立てでは、教育目的・目標に沿った科目を組み入れている。授業科目については、シラバスを作成し、授業の始講時に生徒に配布している。	教育目的、目標に沿った教育課程の編成が実施されている。従業員に応じた教育到達レベル目標、科目設定・科目目標を設定している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムに基づき講義を依頼している。必要であれば資格試験の傾向を考慮した講義内容を講師に求める場合もあり、専任教員と講師の意見交換の場を設けている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進捗状況など情報の共有やシラバスをもとに教育内容について積極的に交換し、効果的な教育に向けて努力している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師資格の取得と、専門職としての自己研鑽という観点で生徒への学習の促しは実施できている。職業人としての自覚や態度を身につけるキャリア教育については、各実習において学ぶことが多い。戴帽式等催しは、生徒自身がそれぞれの役割担当を決め、お互いの意見を出し合いながら協力し、練習から実施までを進めている。この一からものを創り上げていく体験は、准看護師という将来の職業に就くにあたり、役立っている。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けて教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか卒業教育と照らし合わせ、明確にしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。専任教員は、看護教員養成講習会の受講を終了している。	臨床経験が5年以上あり、また大阪府の教員養成講習会を受講している教員5名を確保している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	全専任教員が年3回の教務会の課題に取り組んでいる。また、自己研鑽を目的に施設外で開催される研修会に年1回以上参加し、専任教員の資質向上に取り組んでいる。	施設外の研修では大阪府看護学校協議会・看護協会主催の研修会や学会、教育研修事業に参加し自己研鑽している。施設内では勉強会や伝達講習会などを開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員と外部講師の行う講義・演習については授業評価を実施している。担当講義科目の終講後に生徒全員を対象として講義アンケートを実施しているが、課題の分析までには至っていない。同様に実習の評価は行っているが、課題分析までには至っていないため、努力していく必要がある。	学生の授業評価は実施しているが、実施者側の結果の活用は十分に図れていない。実習評価は、学生と担当者の双方で評価を行い、次に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいたきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	出席率を満たした生徒は、学則や細則に定めた成績評価を受けている。成績評価を受けた生徒に対しては、学則や細則に定めた進級と卒業の判定を行っている。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、運営会議で報告している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	2年生は事例学習のまとめ発表を行い、この発表に教員も参加することで学びを共有している。この事例学習のまとめ発表には1年生も参加しており、早期の学習意欲向上に繋がっている。	課題学習発表会や事例学習発表会など、学年で企画・実施しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする准看護師資格取得のため、日々学習の大切さを常に指導しており、1年次より努力を積み重ねていくことの重要性を諭している。また、実習と准看護師資格試験合格のための学習を結び付け、効率の良い学習指導を行っている。	准看護師の資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする准看護師資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	1年次より准看護師資格試験対策を行っている。低学年模試を行い、その結果をふまえて学習の動機づけを行い、知識が定着できるように指導を行っている。2年次では准看護師資格試験問題集を活用し、実習とリンクしながら計画的に学習を進めている。また、准看護師資格試験の模擬テストを3回実施し、個人の学習到達状況を把握しながら、個々の准看護師資格試験対策を立案・実施している。	資格試験対策委員会を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	准看護師資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	6割程度の生徒が関連施設に就職しており、その大多数が設置主体法人の奨学金制度を利用している。	進学率は約50%である。就職率は100%であり、経済的事情から就職を希望している場合が多い。主な就職先はクリニックや介護施設、療養型病院である。実習体験を通して看護職の魅力を伝えるように努力している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	2019年度准看護師資格試験の合格率は100%である。	資格試験合格率は創立以来100%を維持している。模擬試験や卒業試験で学習成果を確認し、個別の学習支援やメンタルサポートを実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、准看護師資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。准看護師資格試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒相談については主として担任が行うが、内容に応じて教務副部長が行う場合がある。また、相談内容に応じて、必要であれば経験豊富な教員が対応できる体制である。	担任を中心に個別の面接や相談に対応している。学業不振や登校が常でない生徒には、早期に面談等を行っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。大阪府育英会や授業料支援補助金等の申込み事務手続きの支援もしている。	大阪府育英会と法人修学資金制度を案内しており、8~9割の生徒が何らかの奨学金を貸与している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の成績不振や学校生活での問題で、必要であれば生徒保護者に連絡を行い、生徒と生徒保護者との三者面談を行っている。また、戴帽式に参列した保護者には、生徒の学院生活の現状を伝え、そしてその学院生活を理解した上でのサポート要請を、生徒保護者に依頼している。	成績不振者や出席が常でない生徒に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全生徒及び保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令に定められた40人教室の平米は有しているが、生徒の机と椅子を新調した際、その机と椅子の寸法が大きくなってしまったため、教室に余裕がなく窮屈感がある。准看護師養成所に必要な施設と設備、用具については整備している。校舎の老朽化により豪雨時には雨漏りがあり、また震災等による校舎の耐久性にも不安があるため、補修工事等対策が必要である。	建物や教育用具の老朽化により、学習環境が十分に整備されていない。不具合が生じた場合は、直ちに補修工事や教育用具の整備を依頼し、実施している状況である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	5月に高校の進路指導教員対象の説明会を、当学院で実施した。また、大阪府看護協会・看護学校協議会共催の進学相談会に参加し、教育機関に対する情報提供・共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	生徒の募集活動は、事務職員と教員が連携し、教育活動に影響しない範囲で積極的に取り組んでいる。今後はホームページも効果的に活用し、当学院のアピール度を高めていきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率により、受験生の高齢化が進むと予想される。在学生が高齢化すると進学率が下がる傾向があり、この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は減少したが定員は確保できている。	入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい生徒像を話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒個人の情報を取り扱うときは、目的を明確にし、必要な範囲内で情報を保ち、取り扱いには細心の注意を払っている。生徒が実習時に患者情報を取り扱う場合は、生徒ガイドスや実習ガイドス等でオリエンテーションを行わない、個人情報保護対策の周知徹底を行っている。実習での個人情報の取り扱いについては、生徒と誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	生徒や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。入学時や実習前、実習中や学校生活で生じた諸問題は全教員で情報を共有するように努めているが、看護者の倫理綱領にも個人情報保護や守秘義務に対する文言が明示してある様に、教員は生徒や教職員以外の個人情報の取り扱いについても注意を払っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検及び自己評価は実施し ている。問題点については、随時 改善していくよう努力している。	自校の教育活動その他の運営状 態の自己点検・自己評価を行い、 学校経営の現状の見直しが必要 である。教員全員が学校経営への 参加意識を持つことが必要であ る。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。